



子どもたちが交流。
沖縄県中城村児童が旭市を訪問。(2月)



子どもといっしょに楽しもう。
つどいの広場がオープン。(6月)



国道126号と広域農道を結ぶ、
谷丁場遊正線が開通。(3月)



本格運行がスタート。
旭市コミュニティバス。(4月)

広報で振り返る

旭市の
2006

この1年

今年もあと半月で、新しい年を迎えようとしています。皆さんにとってこの1年はどんな年だったでしょうか。ここでは広報紙に掲載された出来事を中心に、1年を振り返ってみます。皆さんの思い出に残っている出来事はあるでしょうか。

6月	5月	4月	3月	2月	1月
30日 ○市とイオン(株)ジャスコ旭店が災害時の支援について協定を締結	7日 ○大原幽学ゆかりの里で都市住民と交流、国指定史跡の水田で150人が田植え	1日 ○旭市コミュニティバスが本格運行拡大 1日 ○袋公園桜まつり(5月5日) 1日 ○合併により、県内最大規模の新「旭市商工会」が誕生 8日 ○市、J Aちばみどり、生協で「食料と農水産業に関する基本協定」を締結	27日 ○17年の歳月をかけ谷丁場遊正線が開通、延長2,280メートル 20日 ○平成18年度予算が可決、総額752億4,305万円 26日 ○第1回旭市民駅伝大会、66チームが出場 23日 ○市と社団法人千葉県トラック協会海匠支部が災害時の協定を締結	17日 ○定数改正後、初の議会が開催、議長に鈴木正道氏 5日 ○第17回旭市飯岡しおさいマラソン大会、1,508人が力走 15日 ○沖縄県中城村の児童10人が市を訪問(16日) 16日 ○児童虐待の撲滅を目指し、旭市要保護児童対策地域協議会を設置	8日 ○新旭市誕生後、初の成人式、712人が参加 11日 ○100羽を超えるコハクチョウが飛来(高生・秋田地区)



市の総合計画策定に向け、
中学生が「新しいまちづくり」を提案。(7月)



25人が質問。子ども議会開会。(7月)



色とりどりの飾り付けや
多彩な催しで楽しんだ、
旭市七夕市民まつり。(8月)



宝探しにも大勢の人の出。
いいおかYOU・遊フェスティバル。
(7月)



40人が熱演。
旭市民ミュージカルが上演。
(10月)



安全で安心な
まちづくりを目指して、
防犯パトロール車を導入。(10月)



大勢の人で賑わう。
3会場で産業まつり。
(11月)

12月	11月	10月	9月	8月	7月
10日 ○第2回旭市民駅伝大会に79チームが出場 8日 ○第6回スターライトファンタジー(〜25日) 25日 ○第2回旭市生涯学習フェスティバル開催(〜26日) 見発表大会・文化講演会(〜26日)	17日 ○コウノトリが三川地区の水田に飛来 20日 ○旭市エンジョイパトロール隊と旭地域区長会が一斉防犯パトロール 28日 ○第2回市民ミュージカル「白いノートの落書き」上演 29日 ○第1回旭市民陸上競技大会(市民240人が出場) 5日 ○3つの会場で産業まつり(11/5旭会場、11/12干潟会場、11/23海上会場)	16日 ○新しいまちづくりについて話し合う地区懇談会を開催(〜11月17日・市内15か所) 10日 ○青色回転灯を装備した防犯パトロール車1台を導入 8日 ○日月神社(駒込)で33年に一度の御神幸祭 18日 ○3つの会場で敬老大会(東総文化会館・海上公民館・いいおかユートピアセンター)	3日 ○旭中央病院駐車場を主会場に、総合防災訓練を実施(〜2,000人が参加) 31日 ○総合体育館の利用者が100万人を突破 18日 ○旭中央病院駐車場を主会場に、総合防災訓練を実施(〜2,000人が参加)	6日 ○第52回旭市七夕市民まつり(〜7日)・2日間で12万人の人の出 29日 ○いいおかYOU・遊フェスティバル2006(〜30日)開催(〜2日間で11万8,700人の人の出)	3日 ○旭市地域職業相談室がオープン(〜求人情報端末より便利に) 14日 ○総合計画の策定に向けて、中学生が「新しいまちづくり」を提案(〜166件の夢を提出) 16日 ○青年会議所主催、あさひ砂の彫刻美術展2006が開催(矢指ヶ浦海岸に30の砂像が出現) 22日 ○サマーフェスタin矢指ヶ浦2006開催(〜2,000人が参加) 25日 ○子ども議会が開会(〜小中学生25人が質問) 29日 ○いいおかYOU・遊フェスティバル2006(〜30日)開催(〜2日間で11万8,700人の人の出)